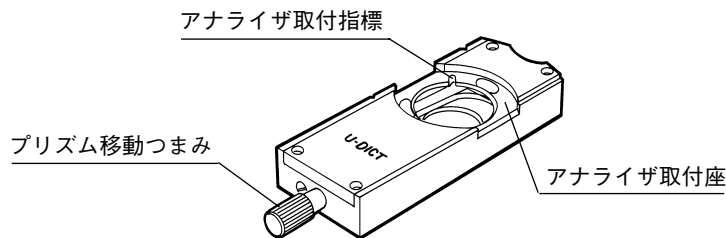


この装置はUIS2/UIS光学系を採用しておりますので、一緒に使用される顕微鏡本体、接眼レンズ、対物レンズ、コンデンサなどはUIS2/UIS光学系シリーズをご使用ください。
組み合わせが合っていないと、性能が発揮できません。

本ユニットはレボルバに取付けてノマルスキー微分干渉観察に使用します。
顕微鏡本体、UIS2/UIS用透過ユニバーサルコンデンサの取扱説明書も参考にされて、総合的な使用方法をご理解ください。

1 外観および各部の名称



2 取付け方と使用方法

1. 落射蛍光投光管を組合わせていない場合(U-ANTが必要です)

(図1)

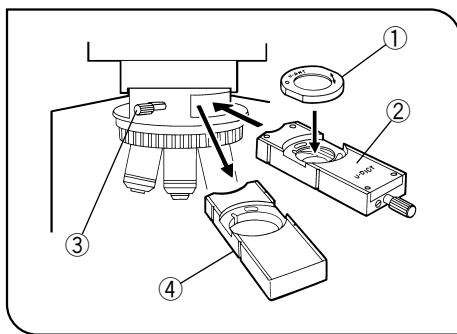


図 1

- 1) 透過用アナライザU-ANT①の表示面を上にし、指標を合わせて透過用微分干渉スライダ②の取付座に落とし込みます。(マグネットで固定されます)
- 2) レボルバの固定つまみ③をゆるめ、ダミーสライダ④を取外します。
- 3) 透過用微分干渉スライダ②をレボルバの取付穴に挿入し、固定つまみ③を締付け固定します。
- 4) レボルバの固定つまみ③をゆるめ、スライダを一番奥まで押込むとプリズムおよびアナライザが光路に入ります。スライダをクリック位置まで引出すと、プリズムおよびアナライザが光路から外れます。

観察方法の詳細は、透過ユニバーサルコンデンサの取扱説明書をご参照ください。

2. 落射蛍光投光管を組合わせている場合(U-ANが必要です)

(図2)

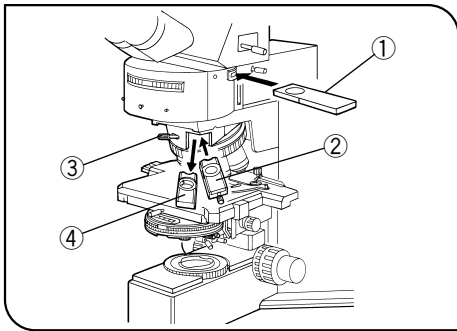


図 2

- 1) 落射用アナライザスライダ(U-AN)①を投光管の取付穴に挿入します。
- 2) レボルバの固定つまみ③をゆるめ、ダミースライダ④を取外します。
- 3) 透過用微分干渉スライダ②をレボルバの取付穴に挿入し、固定つまみ③を締付け固定します。
- 4) レボルバの固定つまみ③をゆるめ、スライダを一番奥まで押込むとプリズムが光路に入ります。スライダをクリック位置まで引出すと、プリズムが光路から外れます。

観察方法の詳細は、透過ユニバーサルコンデンサおよびユニバーサル落射蛍光装置の取扱説明書をご参照ください。